

令和8年度 印西市民アカデミーだより 第6号

講座 7：社会を明るくする運動・青少年健全育成大会

7月11日（土）、印西市文化ホールにて「令和8年度 社会を明るくする運動・青少年健全育成大会」が開催され、アカデミー生10名が参加しました。

この大会は、犯罪や非行のない、誰もが安心して暮らせる明るい地域社会の実現を目指す「社会を明るくする運動」と地域ぐるみで青少年の健全育成と非行防止について理解を深める「青少年健全育成大会」を併せたものです。犯罪や非行に関わった人が再び過ちを犯さないためには、本人の努力だけでなく、地域社会がその立ち直りを支え、見守る姿勢が重要です。

当日は、市内の小中学生による作文朗読、印西市出身のシンガーソングライター大野靖之さんによる講演・歌唱が行われ、演目のひとつとして、大野さんが作詞・作曲を手掛けた牧の原小学校の校歌を同行合唱部とのコラボレーション企画として披露しました。

作文朗読では、友達との絆や家族への感謝、命の大切さ、困難に立ち向かう勇氣、そして自分たちにできる社会への貢献について、児童・生徒達が日頃の体験や真剣な思いを発表しました。

こどもたちの言葉の一つ一つには、人を思いやる心や、誰もが安心して暮らせる地域・社会を築いていきたいという願いが込められており、未来を担う世代からの力強いメッセージとして会場に感動を届けました。

大野さんの講演では、国内外のこどもたちに向けた取組や音楽の持つ力、そしてコロナ禍を経て一層強まったこどもたちの幸せへの思いについてお話いただきました。また、歌唱では優しくも力強い素晴らしい歌声で会場を魅了し、多くの参加者に感動を届けてくださいました。

さらに、牧の原小学校合唱部の児童との合唱では、大野さんのピアノ演奏に合わせてこどもたちが楽しそうに歌う姿が見られました。その様子は、青少年の健全な成長を象徴する心温まる光景として参加者の印象に残り、会場全体を和やかな雰囲気包みました。

家庭・学校・地域が一体となり、「安全で明るい社会をみんなで築いていこう」という思いが広く共有され、強い意志と、温かく優しい雰囲気に包まれた大会となりました。

